

第1章 古代オリエントと地中海世界 §1.古代オリエント世界

1 オリエントとは？

(ア) オリエント とは？

- ①意味：ラテン語で 日の昇るところ という意味
- ②場所：現在の中東

(イ)各地域の特徴

- ① メソポタミア (川の間の方という意味、ほぼ現在のイラク)
 - チグリス 川、 ユーフラテス 川の流域
 - 開放的な地形→多くの民族が興亡
- ② エジプト
 - ナイル川 の流域
 - 閉鎖的な地形→異民族の侵入が困難、エジプト語族 (ハム語系) の支配が続く
- ③ シリア・パレスチナ地方 (東地中海世界)
 - メソポタミアとエジプトを結ぶ交通路
 - セム語系の民族が中継貿易 (陸路・海路) で活躍

2 シュメール人の都市国家

前30世紀	<p><u>シュメール</u> 人の登場</p> <ul style="list-style-type: none"> ①メソポタミア南部に <u>ウル</u>、<u>ウルク</u> を建設 ②シュメール人の文化 <ul style="list-style-type: none"> ✓ (聖塔) の建設 ✓ <u>楔形文字</u> の発明 (粘土板に記録) ✓ <u>ギルガメシュ叙事詩</u> (シュメール人の英雄伝説、ノアの洪水の原型?)
-------	--

前24世紀	<p><u>アッカド</u> 人の登場</p> <p>→シュメール人の都市国家を征服し、メソポタミアに統一王朝 (<u>アッカド</u> 王国) を建設</p>
前22世紀	<p>シュメール人の王国が復活 (ウル第三王朝)</p> <p>→ウルナンム法典 (世界で最古の法典?)</p>
前20世紀	<p><u>アムル</u> 人の登場</p> <ul style="list-style-type: none"> ① <u>バビロン第一王朝・古バビロニア</u> 王国の建設 ② <u>ハンムラビ</u> 王の時代が全盛期 <p>→ <u>ハンムラビ法典</u> の制定</p> <p>特徴：✓同害復習法の原則 「<u>目には目を、歯には歯を</u>」 ✓身分別の刑罰</p> <div data-bbox="1948 772 2579 1178" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>資料 ハンムラビ法典</p> <p>196条 他人の目をつぶしたものはその目をつぶされる。</p> <p>198条 若し彼が人の奴隸の目を傷害し、または奴隸の骨を折傷したる時は、その半額を支払うべし。 (遊佐慶夫『バビロニア法の研究』)</p> <p>ハンムラビ法典は復讐法の原則にたつが、198条のように、被害者が奴隸の場合は、刑罰が減免される点に注意。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ③ <u>ヒッタイト人</u> (インド=ヨーロッパ語族) により滅亡
前15世紀	<p><u>ヒッタイト人</u> の侵入</p> <p><u>ハットゥシャ帝国</u> (小アジアに建国)</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓戦車や <u>鉄</u> の武器を使用し、勢力を拡大 ✓シリアに進出し、エジプトと戦う (<u>カデシュの戦い</u>)

第1章 古代オリエントと地中海世界 §1.古代オリエント世界

3 エジプトの統一国家

(ア) 統一国家設立の背景

- ① **ナイル** 川流域の肥沃な土壌
 ギリシャの歴史家 **ヘロドトス** は「 **エジプトはナイルのたまもの** 」と述べた

資料 エジプトはナイルのたまもの

…川が自分で水かさを増して来ては彼らの田畑を灌漑し、そして、それが灌漑してはまた元へ減退するや、各自が田畑に種子をまいて…

(ヘロドトス『歴史』巻二の13 青木巖訳)

「ナイルのたまもの」とはヘロドトスの言葉。ナイル川の増水が肥沃な土砂を運ぶ様子がわかる。

- ② ナイル川流域に都市国家 (**ノモス**) が形成される

前30世紀	(王) により都市国家が成立 ※約30の王朝が交替(その内、栄えた時期を古王国、中王国、新王国に分類) 太陽神 _____ の化身として、神権政治を行う
前27世紀	都: _____ ✓ _____ の建設(クフ王のものが最大)
前22世紀	都: _____ ✓ 末期に遊牧民の _____ に支配される



前16世紀

都: テーベ

① ヒクソスを追放し、シリアへ進出(トトメス3世 最大領土)

② _____ の改革

- ✓ 都を _____ に移す
- ✓ 従来の信仰を禁止し、_____ 神を信仰する一神教へ
- ✓ 自らを _____ と称す
- ✓ 写実的な _____ が発展

地中海

古王国

中王国

ヒッタイト

シドン

ティルス

カデシュの戦い

新王国

テル=エル=アマルナ

▲アマルナ美術 イクナトンの妃ネフェルティティの像

第1章 古代オリエントと地中海世界 §1.古代オリエント世界

(イ) エジプトの文化

① 太陽神 _____ を中心とする多神教
 靈魂は不滅だと信じ、 _____ を作成
 → 「 _____ 」ともに埋葬した



※古代エジプトの神々

ラー	ハヤブサで表される太陽神、ファラオはラーの子とされる
アモン	テーベの守護神、新王国時代にラーと結合
オシリス	冥界の神、「死者の書」(死者の生前の善行を記した書)をもとに、死後の魂に審判を下す

② 文字

◎ _____ (神聖文字) 碑文、神殿、墓に刻まれる
 ✓ フランスの _____ が _____ もとに
 解読



古代エジプトの文字	
ヒエログリフ (神聖文字) 墳墓や石碑などに刻まれた象形文字	
ヒエラティック (神官文字) ヒエログリフを簡略化したもの	
デモティック (民用文字) ヒエラティックをさらに簡略化したもの	

◎ _____ (民用文字)
 ✓ 最も簡略化された文字、 _____ などに記録された

④ 東地中海世界

シリア・パレスチナ=メソポタミアとエジプトを結ぶ交通の要衝

前13世紀 ヒッタイトとエジプト新王国の支配
 → _____ の進出により後退

前12世紀 セム系の3民族が活動を開始

① 以下の港市を拠点に活躍
 ✓ ウガリット: 最古の港市
 ✓ _____
 → エジプト産パピルスのギリシャへの積出港
 ✓ _____ 現在のベイ
 ルート
 その南のシドン、
 (カルタゴの母市) など _____ イエルサレム

※フェニキア文字は _____ の原型に

② _____ を拠点に
 内陸貿易で活躍

アラム語は当時の国際商業語
 → 様々な文字の元になる
 西アジアのヘブライ文字、 _____ 文字
 中央アジアの _____ 文字、 _____ 文字

③ 自らは _____ 人と呼称、後に _____ 人と
 呼ばれる

始祖アブラハムの指導の下、 _____ の啓示を受けて、
 _____ に移住
 → 12の部族が形成される、一部はエジプトに移住

第1章 古代オリエントと地中海世界 §1.古代オリエント世界

_____の指導の下エジプトを脱出
→その途中、シナイ山で_____を
授けられる
→ユダヤ教の律法のもとになる



前11世紀にエルサレムを都にし、王国を
建国

- ✓ _____王、ペリシテ人を破り、
王国を拡大
- ✓ その子 _____王のとき、最盛期となる
しかし、庶民は重税に苦しむ

前922年 王国は南北に分裂

北: _____ (都: サマリア)
アッシリアに滅ぼされる

南 _____ (都: エルサレム)
新バビロニアに滅ぼされる

→このとき、多数のヘブライ人が強制移住をさせられる
(_____)



前538年 アケメネス朝ペルシアがバビロンを占領、ユダヤ人は
開放される

※ユダヤ教の成立

エルサレムに帰ることを認められ、神殿を建設
→民族の苦難の歴史を『 _____』にまとめる

ユダヤ教の特徴

- ✓ 唯一神 _____ を信仰する一神教
- ✓ 預言者 _____
- ✓ ユダヤ人のみが救われる (_____)
→救世主 (_____) の到来を期待する



▲ユダヤ教の聖地エルサレムの嘆きの壁

第1章 古代オリエントと地中海世界 §1.古代オリエント世界

5] オリエントの統一

前7世紀

による統一 都:

- ✓全オリエントを初めて統一
- ✓王の時代が全盛期 (統治)中央集権体制...全国を州に分けて、総督を設置
- 異民族政策...異民族に重税を課す
- ✓異民族の反発をまねき、崩壊

リディア
サルデス
新バビロニア
エジプト
アッシリアの最大領域
メディア
エウパタナ
ニネウエ

前6世紀前半

四王国分裂時代

- ①エジプト
- ② (小アジア) 世界最古の _____ を使用
- ③ ネブカドネザル2世がバビロン捕囚を行う

前6世紀後半

の統一

- ① メディアから独立し、建国
リディア、メディア、新バビロニアを征服
※ユダヤ人を解放したのはこの人
- ② エジプトを征服し、オリエントを統一! (前525年)

3 アケメネス朝の全盛期

- ✓大帝国の建設...西エーゲ海~東インダス川

サルデス
アケメネス朝ペルシア
スサ
ペルセポリス
「王の道」
スサ~サルデス

✓新都 _____ の建設

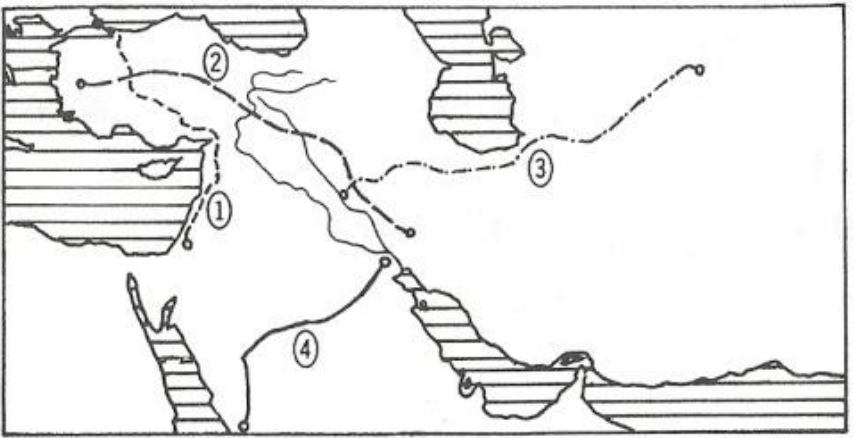
▲ペルセポリス
ペルセポリス ダレイオス1世が建設をはじめた宮殿群は、最終的に完成することなく、アレクサンドロスによって火がはなされた

- ✓全国を20の州(サトラ)に分け、治安維持と徴税にあたる知事 (_____) を派遣
- 王直属の監察官の _____、 _____ がサトラップを監視

第1章 古代オリエントと地中海世界 §1.古代オリエント世界

✓全国の要地を結ぶ _____ をつくり、駅伝制を整備

Q.「王の道」を示したものとして正しいものを、次の地図の①～④のうちから一つ選べ (1992年 センター試験 第3問より引用)



答え ()

✓アラム人、フェニキア人の貿易を保護
→異民族に寛容な政策

✓ギリシャとの _____ 開始 (前5世紀前半)

前4世紀 アレクサンドロス大王に滅ぼされる

※アケメネス朝の文化

- ✓文字：楔形文字を表音化→ _____ を作成
- ✓宗教： _____ (拝火教) の成立
 - ア)二神教 善神 _____ 悪神 _____
 - 最後の審判を受ける (ユダヤ教、キリスト教に影響を与える)
- イ)中国に伝わり、 _____ と呼ばれる

⑥ パルティアとササン朝

ア)イラン人 (ペルシア人)

- 遊牧イラン人と農耕イラン人に分かれる
- ◎パルティア...遊牧イラン人が建国
- ◎ササン朝ペルシア...農耕イラン人が建国


前3世紀 バクトリアとパルティアの自立

① _____ 現アフガニスタン


- ✓アム川上流 (現アフガニスタン) のギリシャ人がセレウコス朝より自立
- ✓トハラ (大夏) により滅亡

② _____ 都 _____

- ✓遊牧イランの _____ がセレウコス朝より独立
- ✓中国の漢王朝と同時期 (中国名 _____)
- ✓ミトラダテス1世の時が全盛期
- ギリシャを愛する (フィルヘレネ) と刻んだコインを鑄造



▲ミトラダテス1世の
コイン
バクトリア



都： _____

① _____ 農耕イラン人

- ✓パルティアを倒し、ササン朝を建国
- ✓ _____ を国教に

第1章 古代オリエントと地中海世界 §1.古代オリエント世界

② 領土拡大
 西 ローマ帝国を撃破、皇帝 _____ を捕虜に
 東 インドのクシャーナ朝を征服

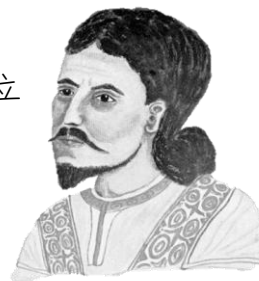
東ローマ帝国
 エフタル
 クテシフォン
 ササン朝ペルシア
 グプタ朝

5世紀	中央アジアの遊牧民の _____ の侵入を受け、動揺
6世紀	_____ : 最盛期 対外: 西) 東ローマ帝国の _____ と争う 東) トルコ系の _____ と結び、 _____ を減ぼす
7世紀	642年 _____ でイスラーム勢力(アラブ人)に敗れ、滅亡

※ササン朝の文化

①宗教

_____ の国教化
 _____ の成立
 →宗教家マニがゾロアスター教、キリスト教、仏教を融合させ成立
 ササン朝で異端とされ、弾圧



②工芸・美術

銀器、ガラス器、彩釉陶器などの技術
 各地域に広がる
 →日本にも伝来
 飛鳥時代: 法隆寺の獅子狩文錦
 奈良時代: _____ の漆胡瓶

⑦ 世界史テーマ史1 ~ユダヤ人の歴史~

①ローマ帝国の支配

前63年 ハスモン朝はローマの武將 _____ に敗れ、ローマの支配下に置かれる



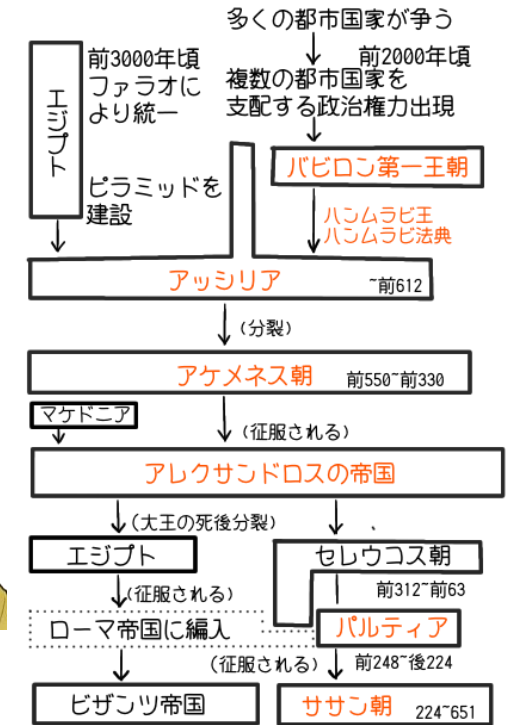
ハスモン朝の断絶後、 _____ がローマと協力関係を結んで、ヘロデ朝をたてる
 →イェルサレムの第二神殿を拡張(ヘロデ神殿)

前7年(前5年)頃、パレスチナで _____ が生まれる



66年~70年 _____

→鎮圧され、ヘロデ神殿は破壊されて消滅
 ヘロデ神殿の遺構の一部が現在の「嘆きの壁」として残る



第1章 古代オリエントと地中海世界 §1.古代オリエント世界

132年~135年

→鎮圧され、以後ユダヤ人は自分たちの国を持つことなく、ヨーロッパ、西アジアの各国に離散し、ディアスポラと呼ばれる

②中世・近代

ア) ディアスポラ後のユダヤ人

ユダヤ人は移住先でもユダヤ教の信仰を保ち、独自の社会・ルールを形成
ユダヤ教の会堂はシナゴグと呼ばれ、ラビと呼ばれる
宗教指導者が共同体を統治

- ✓イベリア半島~北アフリカに居住したユダヤ人→セファルディ系
- ✓ライン川地帯ヨーロッパ北西部(ウクライナポーランドなどの東欧)に居住したユダヤ人→アッシュケナズ系(イディッシュ語を形成)

イ) ユダヤ人の迫害

11世紀以降、十字軍を機にキリスト教の宗教熱が高まり、ユダヤ人の迫害が強まる

1179年 第3回ラテラノ公会議

→ユダヤ人への宗教的迫害を禁止

1215年 第4回ラテラノ公会議 教皇

インノケンティウス3世が提唱

- ✓キリスト教徒とユダヤ教徒の交際・結婚の禁止
- ✓ユダヤ人のギルドからの追放、土地所有の禁止
→土地所有を禁止されたユダヤ人は、主に金融業に従事するようになる
※ユダヤ人=「強欲な金貸し」というイメージが定着

14世紀 魔女狩りの流行

→ユダヤ人が毒をまいているというデマによって、ユダヤ人が迫害される



15世紀 イベリア半島で レコンキスタ (国土回復運動) が進展

→スペインがユダヤ人追放令を發布

多くのユダヤ人が東欧(特にポーランド)やオスマン帝国に移住

※キリスト教に改宗してスペインに残ったユダヤ人はマラーノ(豚)と呼ばれ、差別される

オスマン帝国では ミハル 制のもとでユダヤ人の自治が認められる

16世紀 西欧ではユダヤ人の迫害が強まり、各都市では ゲットー と呼ばれる居住区に強制隔離される



▲フランクフルトのゲットー (1868年)

③19世紀以降

ア) シオニズム運動の高まり

1880年~1920年代 ロシアで ポグロム と呼ばれるユダヤ人迫害が激化

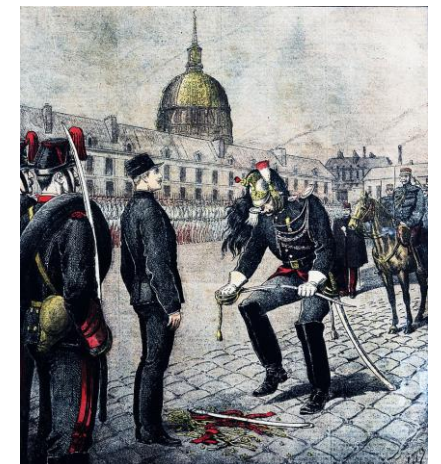
→多くのユダヤ人がアメリカに移住

1894年

→フランスで起きた、ユダヤ系軍人の冤罪事件
この事件に衝撃を受けた テオドール・モントギュー が

シオニズム 運動を開始

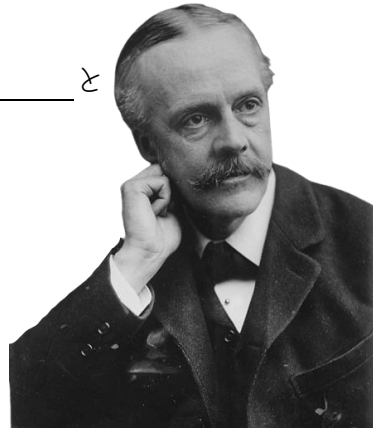
※パレスチナのシオンの丘に戻って、ユダヤ人の国家再建を目指す



第1章 古代オリエントと地中海世界 §1.古代オリエント世界

イ) 第一次世界大戦とパレスチナ問題の発生

1917年 イギリスは _____ を出す
→アラブ人の独立を支援する _____ と
矛盾



外務大臣 アーサー・バルフォア

史料 バルフォア宣言

国王陛下の政府はパレスチナにおいてユダヤ人のための民族的領土 (National Home) を設立することを好ましいと考えており、この目的の達成を円滑にするために最善の努力を行うつもりです

『世界史史料10 20世紀の世界I』歴史学研究会編、岩波書店
2006年より

1920年 _____ でパレスチナはイギリスの委任統治領になる

④第二次世界大戦とホロコースト

ア) ナチスドイツによるユダヤ人迫害

1933年 ドイツでナチス政権が成立

↓
35年 _____ を制定 (ユダヤ人の市民権を剥奪)

↓
38年 _____ 事件 (ドイツ全土で起こったユダヤ人迫害事件)



▲破壊されたユダヤ人商店のショーウィンドー

ナチス=ドイツは各地に強制収容所を設置し、1942年には、ユダヤ人の問題の最終解決策として _____ と呼ばれる大虐殺を開始

史料『アンネの日記』

1944年4月11日

もしも神様の思し召しで生きることが許されるなら、私はお母さんよりもりっぴいな生き方をしてみせます。つまらない人間で一生を終わりはしません。きっと世の中のため、人類のため働いて見せます



1944年7月15日

この世界が徐々に荒廃してゆくのを、私はまのあたりに見ています。いつかはすべてが正常に復し、いまのこういう惨害に終止符が打たれて、平和な、静かな世界がもどってくるだろうと。それまでは、なんとか理想を保ちつづけなくてはなりません。だってひょっとすると、ほんとにそれらを実現できる日がやってくるかもしれないんですから

※この2週間後の8月1日で日記は終わっている

『アンネの日記 (増補新訂版)』アンネ=フランク著、深町真理子訳、文藝春秋、2003年より

イ) 第二次世界大戦後

1948年 _____ の建国→パレスチナ紛争の勃発